

あなたのまちの 行政情報紙

広報はしま

Releasing sweetfish into the river.

8

Aug.2025

Vol.782

長良川へ鮎を放流

大きくなつてね！

くわばらこども園の年長 21 人が、長良川に約 5,000 匹の鮎の稚魚を放流しました。小さな手で「がんばってね！」と声をかけながら川に送り出された鮎たちは、清らかな流れへ元気よく泳いでいきました。毎年、長良川漁業協同組合と協力して行うこの取り組み。子どもたちが川の恵みや自然とのつながりを感じる、貴重な体験となりました。



当日の様子

わたしの主張 2025

発表者	竹鼻中学校	岩田大地、萬澤穂生
	中央中学校	鈴木愛生、早矢仕暁乎
	中島中学校	高橋侑眞、澁谷優奈
	桑原学園	長尾 淳、飯田彩羽 (敬称略)



あの日から気づけた「命の大切さ」

竹鼻中学校 萬澤 穂生

【命を大切にしましょう】
私は伝えたい、この言葉の重みを。
なぜ私がそう思うようになったのか。
この台詞の重みとは何なのか。それを
私はこの場で皆さんに知つてほしいで
す。

私は私が小学五年生になるタイミング
で岐阜県羽島市に引っ立ててきました。
それまでは石川県羽咋市という場
所で、父と兄も含めた六人で暮らして
いました。現在、父は私が元々暮らし
ていた家にすんでおり、兄は石川県内
の会社に就職をして一人暮らしをして
います。そんな、家族と離れて暮らして
いる私だからこそ、分かることが
あつたのです。

最初に言つたこの「命を大切にしま
しょう」という台詞。これは私が転校
した小学校の校長先生の口癖でした。
何かの式や避難訓練など、色んな場面
で耳にたこができる程聞いたこの言
葉。もちろん大事なことだと分かつて
はいても、どこか遠く、他人事のよう
に感じてしまう自分がいました。「命
がどうこうつて言われても・・・よ
く分からぬし、命を感じるつて何?」
これが今までの私の正直な気持ちでし
た。

そんな私にある転機が訪れます。そ
れは頭がおいつかない程、突然に。令
和六年、一月一日、午後四時十分。お
正月ということもあり、石川からこち
らの家に来ていた父や兄と何気ない会
話をしながらテレビを見ていたとき。
突然鳴り出した地震警戒アラート。テ
レビの画面に映し出される「緊急地震
速報」の文字。そして次の瞬間、私の
目に映ったのは石川県の地図と、海沿

いの町が激しく揺れる様子。石川の家や友達や親戚の顔が頭をよぎり、私はあのとき、今までに感じたことのないような「怖い」という気持ちでパニックになりそうでした。

そしてこの後、地震の怖さはここでは終わらないことも知りました。父と兄は、自分たちの家や親戚の方の様子を見に行くため、急いで石川へと帰りました。ニュースで次々と報道される被害の様子。今までの私だつたら横目で流していたかもしだれない。「ああ、またどこかで大変なことがあつたんだなあ。」それで終わっていたかも知れない。でも、この時は違いました。父や兄から送られてきた写真や、石川の友達からの手紙を見て、私は、「命の危機」とは決して他人事ではないのだと思づかされたのです。床にちらばつた本。地割れが続く道路。グラウンドの上で倒れたサッカーゴール。割れて飛び散った窓ガラス。たつたの四十秒です。皆さんは想像できますか。これだけの時間で「あたり前の生活」が一変するのを。私は友達から送られてきた手紙に「なんか、ぼーっとしてると本当は揺れていないのに揺れてる気がするの」と不安そうな字で書かれていました。そのを見て、いつ、誰がどんな目にあうのか分からぬんだと胸が痛くなられなかつたのでしょうか。しかし、被

災した家族や友達の大変さ、苦しさを知っていた私は、「このまま私は何のアクションも起こさず、何もなかつたようになどしていくの？」本当にそれでいいの？」という葛藤に襲われました。何度も考へても出てくるのは、「それだけは絶対に嫌だ。何かをしたい。」という気持ちでした。

その思いを胸に私が参加したのは、今年の2月に羽島市で行われた、「はしま学事始『地域防災』被災・復興のリアル」と名づけられた会。これは石川県の中能登町と羽島市が協力をし、能登半島地震では、どんな被害があり、どうやって乗り越えたのか。そして私たちが同じような状況に置かれた際、何ができるのかというお話を聞かせていただきました。中能登町では地震發生から長い間断水が続き、厳しい避難所生活の中、人々はそれぞれ悲しさや寂しさを抱えていたこと。だからこそ老若男女関係なく支え合っていくのが何よりも大切だとということ。その会で講師をしていた、中能登町の方が教えてくれました。命の大切さ、あたり前の生活がどんなに貴重なものかを。

この経験を通して、私の中の「命」の価値観は大きく変わりました。だから今度は私が色んな人に伝えたい。冗談半分で「死ね」と言っている人に。文字で簡単に人を傷つけている人に。それを許してしまっている社会に。気づいて。あたり前は決してあたり前じゃないこと。亡くなつた命は絶対に戻つてこないこと。生きている今が何よりも大切だということ。

今なら、心から言えます。「命を大切に生きてください。」と。

自分らしく生きるために

「わたしの主張 2025」羽島市大会が6月14日に開かれました。

市内中学校・義務教育学校から選ばれた10人が出場し、

人との関わりの中で感じたこと、身近な体験から気づいた課題への提案など、それぞれの視点に基づいた主張が発表されました。優秀賞作品を紹介します。

ID
1665

はこの気持ちが人と違うこと、LGBTQの観点で少数派なものであることを知り、「自分は普通ではないのか?」「自分は変なのかな?」と悩みました。誰かに話したら拒絶されるのではないかとも思いました。誰にも話すことができませんでした。当時、コロナ禍で休校になりました。そこで過ごす時間が増え、嫌でも自分を見つめる時間が増えたことで、さらにその考えが強くなり、自分は社会で受け入れられない存在なのではないかとさえ思いました。

そんな時、インターネットで、トランジエンダーの歌手の方を見つけました。その人の歌声を聴くと、暗かった私の気持ちまで明るくなりました。なにより、自分自身の性を受け入れ、トランジエンダーであることをオーブンにしている姿に心を動かされました。

私はその人を知ったことで、冷静に自分を見つめ、人と違っているからといって自分を否定するのは間違つていいと考えさせられました。いつの間にか、誰よりも自分が自分を拒絶し、差

別していました。それは、「社会に受け入れてもらおう」や「どうしたら差別されないだろうか」という社会に対する求めの考え方ではなく、「自分が楽しめる人生を送る」ために、自分自身を変えようという考え方でした。

そのように考えられるようになつてからは、自分を差別することはなくなりましたが、自分になかなか自信をもてずにいました。そんな自分を変えたいと思い、全校の前で話すことや学校行事を仕切ることに挑戦しました。本当は目立ちたくない、人前に出たいわけでもない、そんな私が大勢の人の前に立つことは簡単なことではなく、自分でも無理をしていました。人と話すことすら嫌になつたり、夜に意味もなく一人で泣いたりする日も多くありました。それでも、いろいろなことに挑戦し、充実感を得ることで、自分に自信をもてるようになり、どんな挑戦にも楽しむ気持ちをもてるようになりました。次第に自分を認める気持ちが大きくなり、自分を好きだと思えるようになつたことで、これまでよりも世界が格段に明るくなり、毎日が樂しくなったような気がします。自分に余裕をもてたことで、他者に対しても温かい気持ちで接することができ、自分と異なる人のことを理解しようと思え

「自分を愛すこと」は定義がなく、難しいことだと思います。しかし、自分が愛することは、自分が楽しく笑顔で過ごすことに繋がります。だからこそ、みなさんにも自分を愛してほしいです。そのためには、二つのことを大切にすると良いと思います。

一つ目は、「一人一人が尊重されべき存在だ」という考え方をもつことです。その考え方をもてば、どんな人に対するとしても、差別的な感情が生まれないと思います。なにより、「自分自身は尊重されるべき存在だ」と思えたら、もし誰かに傷つくようなことを言われたとしても、自分を否定することはなはずです。

二つ目は、自分に自信をもてるように努力することです。例えば、私はこれまでの自分を変えるために、いろいろなことに挑戦してきました。周りから、家族や親しい人達から認められ、必要とされていると思えたら、自分を愛すきつかけとなります。また、努力することで、自分を認められるようになります。

この二つを大切にできたら、今よりもっと気持ちよく生きられるのではないかでしょう。

私は今、自分を心から愛し、楽しんでいます。あなたは今、あなたを心から愛し、楽しんでいますか。この間に、笑顔で「はい」と言える自分にしてみませんか。

慶
杜
くん

(0歳1ヶ月)



父:黒須弘太郎さん 母:愛梨さん [小熊町]

はい
ボ～ズ



応募はコチラ

羽
音
ちゃん

(0歳4ヶ月)



父:篠田恭平さん 母:美羽さん [堀津町]

8月 保健コーナー

問い合わせ先
子育て・健幸課 (内線 5302)

行事名【対象者】	期日等	受付時間	予約・詳細
乳幼児相談 【乳幼児】	8月5日(火)・ 26日(火)	9:00～ 11:30	相談のある人は 問い合わせ先へ 電話で申し込む
離乳食教室 (初中期) 【5ヶ月前後の児】	8月19日(火)	9:45～ 10:00	
健康相談	随時	9:00～ 16:00	-
精神保健 こころの相談	8月25日(月)	13:30～ 15:30	
胃・肺・ 大腸がん検診 【40歳以上】	8月25日(月) 9月7日(日)・ 26日(金)	9:00～ 11:45	
乳がん・ 大腸がん検診 【40歳以上の女性】	9月18日(木)	午前の部 9:10～ 11:30 午後の部 13:10～ 15:30	
医療機関委託	胃がん検診 【50歳以上】	実施医療機関 の診療時間内 です。詳細は 二次元コード からご確認く ださい。	
	大腸がん検診 【40歳以上】	令和8年 2月28日(土)まで	
	子宮頸がん・ 体がん検診 【20歳以上の女性】		

※市内に住民登録がある人が対象で、事前に予約が必要です。

※生活保護世帯の人はがん検診費用が無料のため、検診を受ける前に子育て・健幸課へご連絡ください。

※乳がん検診、子宮がん検診は、令和6年度に受診していない人が対象です。
また、令和6年度に胃内視鏡検査を受けた人は、令和7年度の市の胃がん
検診は受けられません。

母子健康手帳の交付

妊娠が明らかになった人は、早めに母子健康手帳の交付を受けましょう。原則金曜日予約制となりますので必ず事前にご連絡ください。(所要時間1時間程度)
予約先 子育て・健幸課 (内線 5302)

羽島市の最新情報
SNSでチェック!



フェイスブック



エックス



インスタグラム



人口 66,228人 (-319)・男 32,690人・女 33,538人



世帯数 28,487世帯 (+280) 令和7年7月1日現在



* () は前年同月との比較

休日急病診療

診療時間
午前9時～午後2時

期日	医療機関 (医科・歯科・薬局)
8月3日 (日)	小川医院 (下中町) ☎ (398) 3211 はま歯科医院 (正木町) ☎ (394) 4662
8月10日 (日)	小田内科 (足近町) ☎ (392) 1225 たけはな歯科 (竹鼻町) ☎ (391) 2122
8月11日 (月)	加地内科 (足近町) ☎ (392) 6688 札場歯科医院 (正木町) ☎ (392) 8868
8月17日 (日)	河合胃腸科クリニック (竹鼻町) ☎ (392) 5118 ほつ歯科医院 (堀津町) ☎ (398) 5272 マイはーと薬局 (竹鼻町) ☎ (394) 0886
8月24日 (日)	かわむら内科胃腸科 (舟橋町) ☎ (392) 2281 正木伊藤歯科 (正木町) ☎ (391) 3112 スギ薬局舟橋店 (舟橋町) ☎ (394) 3120
8月31日 (日)	丸の内クリニック (竹鼻町) ☎ (393) 0765 丸栄歯科 (竹鼻町) ☎ (391) 2488
9月7日 (日)	黒田医院 (桑原町) ☎ (398) 8201 丸の内歯科医院 (竹鼻町) ☎ (322) 6220

※必ずマイナ保険証か資格確認書を持参してください。

※事前に当番医に電話の上、受診してください。症状により対応できない場合があります。対応できない場合や時間外は羽島市民病院☎ (393) 0111の救急外来等に事前に電話の上、受診してください。その際は選定療養費が別途必要になる場合があります。「ぎふ救急ネット」にて受診可能な医療機関も検索できます。

※薬局は、休日当番医療機関が院外処方の場合に記載しています。

※気象状況により休診となることがあります。